

# 学習指導案

公民科(現代社会)学習指導案			月 日	平成 22 年 月 日 ( )			
			時 限	第3時限			
総合学科		1年1組	教室	指導者	佐藤 悠人		
単元	第3章 日本国憲法と民主政治 第2節 日本国憲法と基本的人権		教科書	現代社会			
単元目標	○現代の民主政治と民主社会に対する関心をもち、自己と他者の人権を尊重する態度を取ろうとする。 (関心・意欲・態度)						
	○民主政治や基本的人権に関わる概念について多面的・多角的に考え、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断することができる。 (思考・判断)						
	○民主政治や基本的人権に関する諸資料を収集し、学習に役立つ情報を選択、活用し、他者に伝わるよう発表することができる。 (技能・表現)						
	○民主政治や基本的人権に関わる諸概念について理解することができる。 (知識・理解)						
学習計画	1. 法の下の平等	…1時間(本時)	4. 基本的人権の保障(2)	…3時間			
	2. 日本国憲法と三つの原理	…3時間	5. 新しい人権と人権の国際的広がり	…2時間			
	3. 基本的人権の保障(1)	…2時間					
本時の目標	○平等や差別といった概念の実態について、実例を踏まえながら考え、「差別」と「区別」の違いについて公正に判断することができる。(思考・判断) ○判断の根拠について、班員の意見を自分の考えに生かし、グループ内で発表することができる。(技能・表現)						
準備資料	○ワークシート(2種類)、グループ意見まとめ用紙 ○新聞切り抜き「顔の傷 男女差は違憲」(読売新聞 2010.5.28) ○付箋紙(2色、各色約 200 枚ずつ)						
段階	指導内容	学習活動	学習形態	時間	指導上の留意点		
導入	○新聞資料を読ませ、数名を指名して考えを発表させる。 ○本時の目標の確認	○新聞記事を黙読し、自分の考えを記入する。	一斉 個別	7 分	○難読文字や難解な用語について簡潔に説明する。		
展開①	○「平等」と「差別」という概念と関連事項について説明する。 ・法の下の平等 ・平等権 ・実質的平等と形式的平等	○板書事項をワークシート①に記入する。	一斉 個別	8 分	○生徒の記入状況を確認しながら、板書の大きさや速度に留意する。 ○用語については、生徒にとって身近な例を出しながら説明し、理解の助けとする。		
展開②	○ワークシート②を配布し、「あってよい違い」と「あってはいけない違い」について考える。  ○4人班を作り、付箋紙を貼りながら班内でお互いの意見を発表し、各事例について班の意見をまとめる。  ○いくつかの班を指名し、各事例について①判断②その理由を述べさせる。	○(例)を踏まえながらそれぞれの事例について判断し、理由を記入する。  ○付箋紙を貼りながら自分の意見を明確に伝えるとともに、班員の意見も聞き取り、話し合う。  ○「まとめ用紙」を全体に見せながら、班の意見が全体に伝わるよう根拠を明確にして説明する。	個別 集団 集団 一斉	25 分	○机間巡回し、生徒の進度に合わせ適宜助言をする。  ○4人班をスムーズに作らせる。 ○班の話し合い状況に合わせ適宜助言をする。 ○意見を全体に共有できるよう、全体にも同様の質問を問い合わせる。		
まとめ	○新聞資料に再び注目させ、どのような「平等」なのかを考えさせる。 ○本時のまとめをする。	○展開②と同様の視点で資料を見直し、考えを記入する。 ○板書を記入する。 ○振り返り項目を記入する。	一斉 個別	10 分	○本時の内容を振り返り、踏まえた上で考えることを意識させる。 ○ワークシートに記入し、提出させる。		